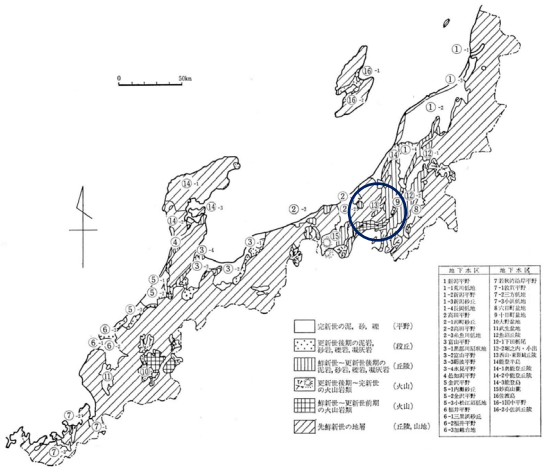
13.東頸城・西山丘陵



地形・地質

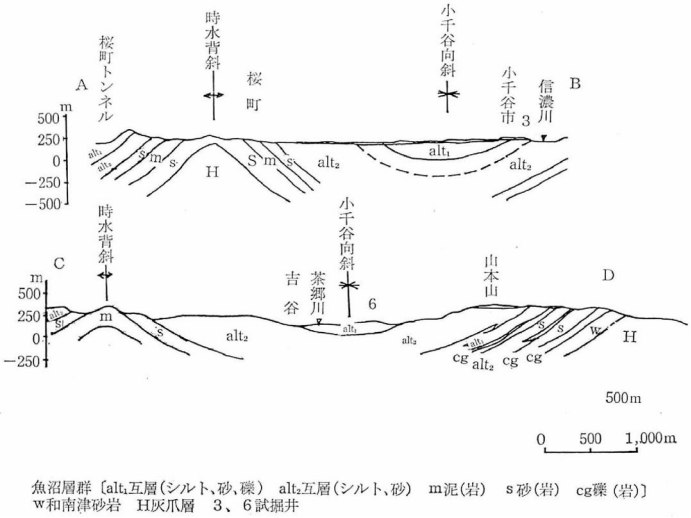
東頸城地方は，米山・黒姫山などの 900m 級の山をのぞけば，丘陵性の地形が広がり，ほぼ第三紀中新世の黒色泥岩を主とする堆積岩からなり，日本有数の地すべり地帯を形成しています。

地下水

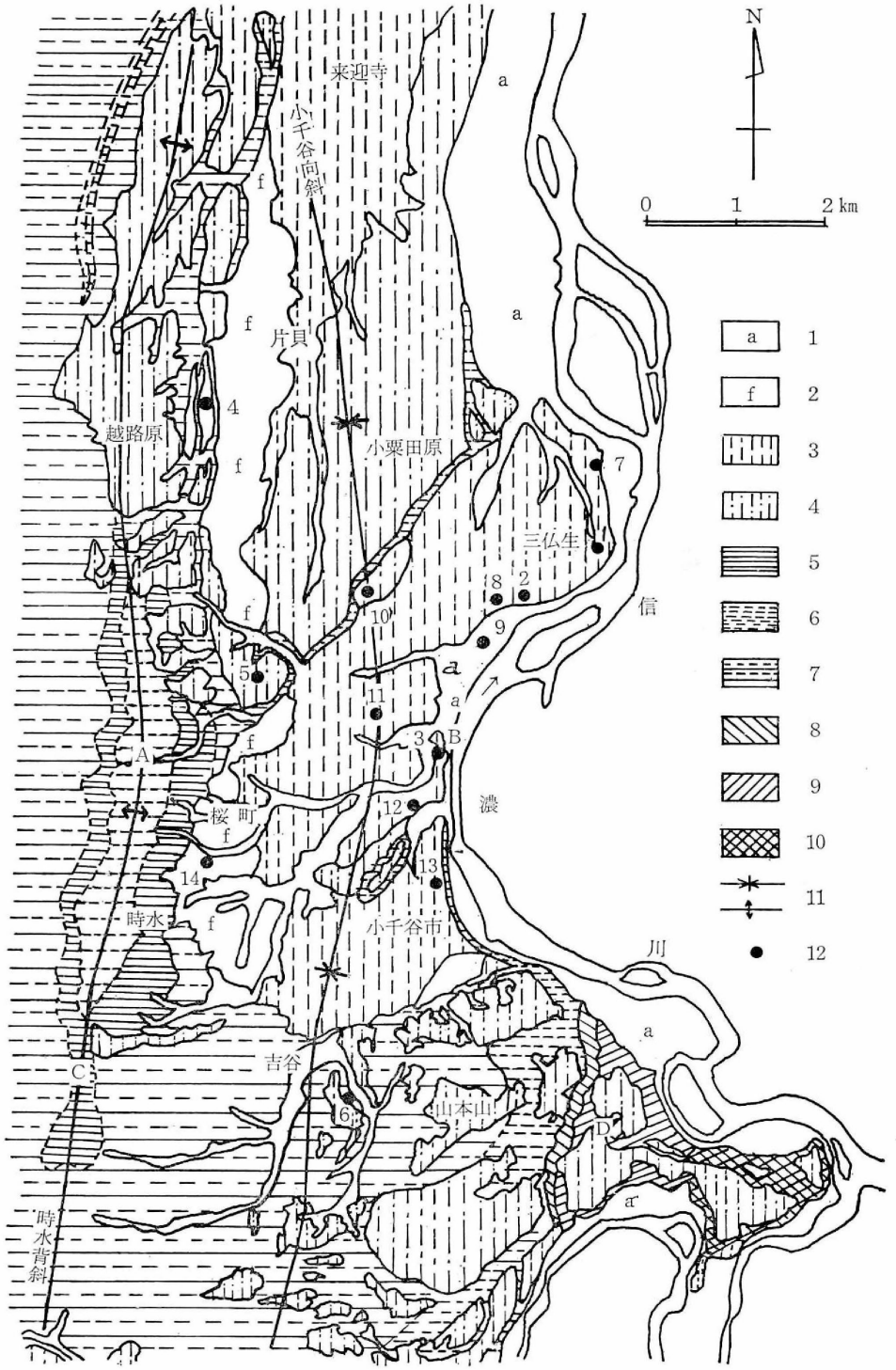
小千谷西部地区：小千谷面以下の段丘や魚沼層群中の砂礫層は，良好な帯水層です。

小国盆地地区：段丘崖や丘陵麓部に横井戸を掘り，家庭用水にしています。

北条地区：帯水層は厚さ 20m 前後の魚沼層群砂層(一部分は礫層)です。長鳥川沿いには家庭用の浅井戸が数多く分布し，大半が自噴井です。



小千谷西部地区断面図



1:沖積層、2:崖錐性扇状地堆積物、3:沖積段丘堆積物、4:洪積段丘堆積物、5:魚沼層群(シルト岩優勢)、
6:魚沼層群(砂岩、礫岩優勢)、7:魚沼層群(互層)、8:和南津層(砂岩)、9:灰爪層(シルト岩)、
10:西山層(泥岩)、11:褶曲構造、12:井戸柱状図位置

小千谷西部地区の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）